

【島のくらしの情報】

大島

<p>①仕事（収入）の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設関係の仕事に通年募集があります。（大島町役場福祉けんこう課 04992-2-1471） ・旅館業務等の募集もあります。 ・新規就農者支援研修を行っております。
<p>②住居の状況（貸家、空き家など）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町営住宅：大島町役場建設課 04992-2-1487 ・空き家対策の助成（修繕が不可欠な空き家等）：大島町役場政策推進課 04992-2-1444
<p>③医療環境の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大島に病院は1院で内科、外科、産婦人科、小児科等で、レントゲンやMRIも完備しており、出産も島の病院でできます。急患については、ヘリで本土の総合病院に入院します。 （大島町役場福祉けんこう課 04992-2-1471） ・ペットクリニックも1件ございます。
<p>④福祉環境の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者入所施設は、特別養護老人ホームが1施設、グループホームが1施設あります。在宅介護サービスはショートステイ、デイサービス、ヘルパー訪問介護、訪問入浴などひとつとおり揃っており、その他にも配食サービスや医療送迎サービス、介護予防運動教室、ものづくり教室など高齢者福祉は充実しています。（大島町役場住民課・04992-2-1462） ・子育て支援については、子ども家庭支援センターを設置しており、相談受付や支援を行う体制が整っています。島内に幼稚園はありませんが、保育園は5園あり、待機になることはほとんどありません。乳幼児の予防接種は個別に通知され受けられます。 （福祉けんこう課・04992-2-1471）
<p>⑤教育環境の状況</p>	<p>大島を地区別に分類すると北部・中部・南部と分類され、小・中学校はそれぞれの地区に1校ずつ、高校は中部・南部に1校ずつあり、南部の高校は都内では珍しい実習船を持つ都立海洋国際高等学校があり島内者以外の生徒は、全寮制になっていますので、親元を離れても学業・生活共に心配ないようになっています。</p>
<p>⑥上下水道・電気・ガスの状況</p>	<p>大島の水道普及率は99%です。ガスはプロパンガスです。 電気は島内に火力発電所があります。町では太陽光発電の再生化のエネルギーを利用し、電気自動車を導入しています。</p>

<p>⑦本土との交通手段（費用、時間、便数など）</p>	<p>【航路（東海汽船03-5472-9999）】 東京港竹芝栈橋（最寄駅 東京臨海新交通ゆりかもめ竹芝駅から徒歩1分 JR山手線浜松町駅から徒歩約7分） ・超高速船 1時間45分 ・大型船 22時に出港し、翌朝6時に到着。（夏季 23時出港し、翌朝5時に大島着） 静岡熱海港栈橋（最寄駅 JR熱海駅からバスで約15分、タクシーで約10分） ・超高速船 45分（熱海航路は超高速船のみ） 【空路（新中央航空・大島空港 04992-2-1651）】 ・調布空港から約35分 ※費用については各交通機関に直接お問合せ下さい。</p>
<p>⑧島内の交通手段（費用、便数など）</p>	<p>【島内交通】 ・バス1日約10便（運行時刻については、大島旅客自動車へお問い合わせ下さい。04992-2-1822） ・タクシー、レンタカー（台数に限りがありますので、大島観光協会へお問い合わせください。04992-2-2177） その他 レンタバイク・レンタル自転車等 ※費用については、大島観光協会へお問合せ下さい。</p>
<p>⑨買い物場所・物価の状況</p>	<p>・島内にはスーパーが地域ごとに点在しています。コンビニはありませんが、店舗によっては21時頃まで営業しています。物価は海上運賃がかかっているため、少し高めです。また、海上の状況では島内店舗が品薄状態となる場合もあります。</p>
<p>⑩これまでの移住実績</p>	<p>・近年大島には、スローライフや自営業が目的のIターンで移住される方が少しずつではありますが、増えてきています。</p>
<p>⑪移住を希望される方の短期滞在、下見に対する支援の状況</p>	<p>・大島町が後援する、定住促進事業で「島の暮らし体験」があります。これは、数日間大島に来島して頂き、空き家や空き店舗の紹介、そして島のイベントに参加し島の暮らしを体験してもらうものです。詳しくは、公式サイトをご覧ください。 リンク https://www.oshima-kurashi-taiken.com/ ※なお、今年度は募集を締め切っております。</p>

<p>⑫移住にあたっての支援の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・移住者に対して、購入または賃借をする空き家の改修費等を助成する制度をおこなっております。 ・大島にて起業をする方に対して、購入または賃借をする空き店舗等の改修費等を助成する制度をおこなっております。 (大島町役場政策推進課 04992-2-1444) ・農業が未経験という方への研修制度があり、島のベテラン農家と交流、指導を受けることができます。 (大島町役場観光産業課 04992-2-1446)
<p>⑬そのほか島での暮らしぶりについて伝えておくべき必要な情報</p>	<p>四季によってさまざまな表情をもつ大島は、自然豊かで、喧騒から離れた場所で暮らしたい方にはお勧めの場所です。しかし、自然というものを体験していくと弊害もあることに気付きます。それは海況に強く影響を受けやすいということです。</p> <p>船がでなければ、島内の店舗では品薄になったり、東京へ行く予定が1日・2日遅れてしまうこともあるでしょう。すべてがきちり正確に動く都会とは違う不便さが、大島の住民にとっては「日常」なのです。</p> <p>大自然の素敵な側面も、弊害となる側面もどちらも受け入れる寛大な気持ちこそが、スローライフの始まりです。</p> <p>移住場所の地域のイベントや集い等には積極的に参加し、地域に溶け込むよう努力することが大島を楽しむもう一つの手段です。</p> <p>また移動には自家用車・バイク等は一家に一台あると、大変便利です。</p>